

第1103号

令和5年4月15日発行

目	次
第26回「教育研究論文・教育実践賞」	災害見舞金事業 · · · · · · · · · 7
審査結果報告2~4	各種募集案内 · · · · · · · · 8
応募型研修・研究助成・・・・・・5	教育研究所だより9
信州大学教育学部との連携6	5月の研修ガイド9
職員の異動について6	今月の一枚10
ホームページ、SNS、PV の活用・・・・7	100年館の絵・・・・・・10

信濃教育会は意欲的に挑戦する教職員を応援します!

第26回「教育研究論文・教育実践賞」特選受賞者への贈賞



個人の部

小山美香子先生 (駒ヶ根市立東中学校)

本校では市民権を得ている「造形実験」ですが、初めて聞くとおっしゃる方がほとんどだと思います。美術は、色と形で思いを伝える教科です。造形実験を多くの方に知っていただき、共に実践できたら嬉しいです。

グループの部

西内小学校研究グループ (上田市立西内小学校)

「全職員で全校児童を育てる学校」を目指し、少人数の授業では"対話"は難しいと諦めるのではなく、少人数だからこそできる"対話"を目指し研究チームが取り組みました。この実践が少しでも役に立てば幸いです。



個人の部:「造形実験」の試み ~中学校美術科授業における全く新しい学習指導~

小学校の造形遊びを継承する、中学校美術科における「造形実験」。

行為を通して造形の言葉を獲得し、問題解決を図る「実験」と据える。多様な材料と表し方を試しながら自分としての答えを探究する造形活動の授業3年間の実践の記録。

グループの部:対話する必要感と対話経験が豊かな表現の第一歩

少人数が故に、自分の思いや考え方を伝える場面や経験が乏しく、話すことや伝えることに消極的になってしまう傾向のある子どもたち。対話を楽しみ、対話が上手になるにはどうすればよいのかを考え、「伝え合う必要感のある場面づくりで、自分の思いや考えを豊かに表現する学びの研究」をテーマとし様々な角度から研究を進めました。

令和4年度

第26回 「教育研究論文·教育実践賞」

審查結果報告

第26回「教育研究論文・教育実践賞」の審査が終了しました。多数のご応募ありがとうございました。

特選論文は、雑誌「信濃教育」7・8月号に掲載いたします。また、7月1日(土)第137回信濃教育会総集会 更埴大会において「特選」受賞者の動画発表、入賞者によるポスターセッションを予定しています。

【審査員】

西 一夫 (代議員会代表・信州大学教育学部教授)

永井 克昌 (常任委員会代表・鍋屋田小学校長)

工藤 信一(外部審査員・信濃毎日新聞社論説委員)

内川 雅信(幹事会代表・豊科北中学校長)

【応募総数及び入賞者の内訳】

賞	個人の部	グループの部	合計
特選	1	1	2
準特選	1	2	3
入 選	8	2	10
佳作・奨励賞	80	24	104
合計	90	29	119

【総評】 審査員長 西 一夫

第26回「教育研究論文・教育実践賞」に対して、今年度は個人の部・グループの部あわせて119件の応募をいただきました。新型コロナウイルス感染症の蔓延から徐々に回復への兆しが感じられる中、日々の教育活動を停滞させることなく、弛まぬ努力の結果を論文としてまとめ上げて応募いただきましたことに心より感謝申し上げます。寄せられた多くの論文・実践からは、なお制限のある窮屈な学校現場の中でも、それぞれの環境を最大限に活かした教育活動が展開されていることが示されました。また新たな教育観に基づく学習の在り方に意欲的に挑戦する教職員の姿や学習活動に向かう児童生徒の真摯な姿勢は、信州の教育風土が大切に育ててきた魂だと言えましょう。

今回の応募論文・実践の特徴としては、次の2点を挙げることができます。

一つは制限ある学習環境を乗り越えるための努力の成果という発想から、学習環境をよりよくして活用しようとする 意識が明確に表れている。

二つ目は多様な児童・生徒個々へのきめ細やかな対応のための教育方法や学校生活の在り方を示している。

前者はGIGAスクール構想を、それぞれの学校の状況にあわせて内化・深化させていこうとする教育方法の改善です。このように急速に内化・深化できたのは、新型コロナ感染症の蔓延が大きな要因であることは言を俟ちません。後者は個別最適な教育を実現する今日的な教育課題に取り組んだ実践です。いずれにしても新たな教育の方向性を着実な歩みとして捉え、それを環境に適した形式で取り入れようとする意欲的な内容です。

教育環境はさまざまな課題を抱えています。人と人とがかかわりながら学びは醸成されていきます。この数年、そうした関係が薄れたように感じます。人を思う気持ちが教育の根底にあるのだろうと思います。

【後 援】長野県教育委員会 長野県市町村教育委員会連絡協議会 長野県小学校長会 長野県中学校校長会 長野県特別支援学校校長会 長野県高等学校長会 長野県 PTA 連合会 信濃毎日新聞社

特選/個人の部

「造形実験」の試み

中学校美術科授業における全く新しい学習指導小山 美香子(駒ヶ根市立東中学校)



【講評】内川 雅信

「造形遊び」につながる実践が中学ではほとんど行われていないことや、作品主義に陥りがちだった自分の授業の反省等から、武蔵野美術大学 三澤一実教授が研究されている「造形実験」という新たな実践に果敢に挑戦していった論文。

作品の形にとらわれているという実態をふまえ、造形遊びの「行為そのものを楽しみ、色や形の美しさや面白さに気づいていく」ことを大切にしながら、中学生という発達段階や自校の生徒達にあった学習を追究している。「造形実験」という教師側の視点だけでなく、子どもの側からの視点との両面から研究を進めている。また、一人の生徒の学びをとらえるとともに全体を定量的にとらえる等、個と全体との両面から研究を深めており、こうした多面的な視点で実践・研究していく姿勢に感心した。

また、1年間や1題材での実践論文が多い中、3年間同じ学年で継続して取り組んだものであり、前の実践を振り返り、テーマや選択できる素材、技法等を生徒の実態やねらいに適したものに工夫・改善しているところが素晴らしい。

自分や友、そして、素材や技法と対話し、試行錯誤しながら制作活動を楽しんでいく生徒達の生き生きと した様子が伝わってくる。形にとらわれず、表現したいものを形にしていく行為を楽しむ学習は、美術はも ちろん、他教科にも多くの示唆を与えてくれる。

特選/グループの部

対話する必要感と対話経験が豊かな表現の第一歩 西内小学校研究グループ(上田市立西内小学校)



【講評】永井 克昌

全校児童22名の小規模校で、一人一人の子どもが、自分の思いや考えを豊かに表現する姿を願い、学級担任の授業だけでなく、様々な場面を関連させ、全職員で全校児童を育てるよう努めた実践である。

願う子ども像の具現に向け、3学年の国語の授業から始めた取り組みを全校に広げていく過程に様々な成果が表れている。例えば、「全校国語」では、一つの学級の授業でまとめた「話し合いで活用できる合言葉」等の成果を、全学年でも活用できるようにしたこと、全校児童一人一人の話すことへの抵抗感を軽減していくために、継続的に対話場面を学校全体で設定したこと、異学年での取り組みが、上級生も下級生も互いに学び合える場となることを自校の強みとして見出したこと。「全校体育」でも、集団の広がりによる個々の技能差が大きくなることをデメリットとせず、必要感のある対話場面を設定する上では、大変有用であることに着目したこと、等があげられる。実践を通し、全校の一体感の高まりが伝わってくるが、学校組織マネジメントの観点からも参考となる。

「小人数だから…」とデメリットに目が向きがちだった教師集団が、実践を重ねながら、「少人数だからこそ…」と少人数をメリットとして活かす取り組みに発想を転換していったことに敬意を表したい。また、自校の目指す子ども像を共有し、学級や学年、教科の枠を超え、学校全体で教育活動を創り上げていく姿勢は、学校規模を問わず、いずれの学校でも参考にできるものと考える。

準特選/個人の部

学校での不登校支援の多様化をどう進めるか ~校内フリースクール「サポートルーム」での実践から見えてきたこと~

西村 良幸(上田市立第六中学校)

【評】最終審査で、特選の研究論文に劣らない評価だった。試行錯誤を重ねながら、生徒たち一人一人に丁寧に向き合う姿勢が伝わってくる。子どもの姿が教員の目に見える"緩衝地帯"を学校内に置く意味は大きい。論文の「おわりに」でも触れているように、それを学校のあり方の問い直しにどうつなげていくかが肝心だろう。1年の実践で見えてきた課題を踏まえ、さらに継続することで、より深い実践研究になるのではないか。

準特選/グループの部

「オンライン×地域素材×教科横断」で創る主体的な学び ~武水別神社の「算額」を解く~

国語・数学合同教科会(長野県屋代高等学校附属中学校)

【評】学ぶということの醍醐味を感じさせる取り組みだ。選抜を経た生徒が学ぶ中高一貫校だからこそできた実践という側面はあるものの、教員たちの意欲的な姿勢が感じ取れる。ただ、あえてオンラインにせずともビデオ映像でよかったのではないか。審査委員からは、やや目新しさに飛びついた感があるとの意見や、「教科横断」とまで言えるか疑問視する声も出た。

問い続ける主体的な学びの姿を求めて

総合的な学習の時間係(須坂市立東中学校)

【評】60年前に学校に寄贈されたまま、使われなくなっていた古いピアノをよみがえらせる―。目の付けどころが良く、全校生徒による総合学習として取り組んだことも評価できる。残念なのは、この実践を通して、生徒たちが何を学び取り、学校がそれをどう生かそうとしているのかが明瞭でないことだ。苦労して費用を集め、修復できました、で終わってはもったいない。論文のまとめ方も、単に時系列を追う記述でなく、もう少し工夫がほしかった。

入選

- ●トイレピカピ化 大作戦! ~プロの技を取り入れたトイレそうじシステムの実践~ 両角 千彬(東御市立和小学校)
- ●東御の土に学ぶ子どもたち

中曽根 力(東御市立田中小学校)

●原村を知り、原村で学び、原村と生きる生徒を育てる『原村学』~ 2021年度「原中ワインをつくろう講座」より~

平塚 広司 (原村立原中学校)

- ●『個別最適な学び』を目指した国語科の授業 ~ 『指導の個別化』と『学習の個性化』の視点から~仙波 歩(駒ヶ根市立東中学校)
- ●地域で育てる「未来を生きる子ども」 ~総合「龍江とシャルルヴィル・メジェールの交流」を通して~金澤 紗奈(飯田市立龍江小学校)
- ●特性を存分に味わい、その運動の特性を語り合う授業づくり ~子ども達の実態にあった教材を手作り~ 清水 克哉(安曇野市立穂高西小学校)
- ICTの活用をしながら、新学習指導要領を中心においた、「どの子も書ける」授業の構想~意見文・鑑賞文・批評文の3つより~遠山 恒輝(千曲市立埴生中学校)
- ●「のめり込む生活:興味関心を持ち、自ら追究する児童の育成のために」「やりたいこと」を「やりたいやり方」で「やってみる」授業を通して 小学2年生「栽培活動」「飼育活動」 小嶋 徳仁(松本市立田川小学校)
- ●子どもが主体的に自分らしく学ぶことができる学校づくりをどのようにすすめるか ~全校研究校長部会「校長講話で使うグラフを作ろう」の実践を通して~

全校研究推進グループ(下條村立下條小学校)

● ESDの視点を取り入れた課題研究の実践 一地域と連携した探究学習の事例—

探究授業について考える会(長野県佐久平総合技術高等学校)

新たな学びや更に深めようとする学びに助成します

応募型研修 - 研究助成

~ 助成事業を活用し学びを深めよう!

NEW!



▶ 学び続ける教師への助成

(1) 学術的な研究調査に励む教師への助成

※学術的な研究調査とは、自然科学や社会科学、保健衛生学などです

- ・会員個人への補助
- ・専門的な学術分野における研究調査へ必要な経費等の一部を助成 (1件上限5万円)

(2) 子どもたちの探究的な学びを実現する教師への助成

※学級や学年の取組だけでなく、学校全体での取組等も対象になります

- ・会員個人への補助
- ・探究的な学びが更に進展するために必要な経費等の一部を助成 (1件上限5万円)

▶ 短期視察研修補助

- ・会員個人への補助
- ・県内外で5日以内の視察研修に伴う費用の一部を補助 (1日1万5千円を基本、1日につき5千円増額)

▶ 自主的校内研修補助

- ・学校独自に行う研修への補助
- ・研修を深めるために必要な費用(謝礼・資料費など)の補助 1校1万円+2万円×会員率(会員数/県費教職員数)

● 申込みについて

信濃教育会 HP のトップページ の上のメニュー「研修補助金」に カーソルをあてていただくとプル



ダウンメニューとなります。それぞれの実施内容や申請書類等がご覧になれます。

※「自主的校内研修補助」は7月末日までに申込書を提出ください。「学び続ける教師への助成」及び「短期視察研修補助」は予算額が終了した段階で申込みを終了といたします。

信州大学教育学部と信濃教育会との連携に関する協定を調印 双方の連携を強化し、長野県教育の向上、充実を図りたい



令和5年3月24日(金)信州大学教育学部において武田育夫会長と村松浩幸学部長の間で連携協定を締結いたしました。授業改善と教職員の資質向上及び教員養成の改善を進めることで長野県教育の充実に寄与することを目的としています。これまでも同学部とは個別的なかかわりを含め、信教全県研究大会の共同研究者への協力や武田会長の教育学部生への出前授業、次世代型学び研究開発センターと連携協定(R4,3月)を結ぶなど様々に連携をしています。公式に連携協定を結ぶことで、互いのもっている人的資源、知的資源、物的資源や強みを生かし長野県教育をさらに発展させていきたいと願っています。

今後は信濃教育会の各種研修事業に学部の講師を積極的に派遣していただくこと、信濃教育会からは学部の Educational Challenge への支援や学部生への授業、教員志望者数増への取組等々、学部とのかかわりを一層強めていくことが確認されました。

信濃教育会職員の異動についてお知らせします。

退任

竹前 傳藏 (雑誌図書編集部部長)

勝山 幸則 (総務・会計部部長)

鏡味 洋子

(教科用図書研究部部長 兼信濃教育会生涯学習センター部長)

内部異動 (前任)

教科用図書研究部部長 熊谷 久仁彦 (信濃教育会教育研究所部長)

※信濃教育博物館アドバイザー 伊藤純郎氏には 一ヶ月に2日程度, 博物館資料の整理保存にか かわってご助言をいただきます。

新任



原 文章 総務·会計部部長



北村 康彦 雑誌図書編集部部長



内川 雅信 信濃教育会教育研究所部長 兼信濃教育会生涯学習センター部長



伊藤 純郎 信濃教育博物館アドバイザー

ホームページ、SNS、PV をご活用ください



信濃教育会の各種事業、研修会等のご案内や申し込みはすべてホームページからできます。

最新のご案内は、ホームページのトップページ「お知らせ・ご案内」でご覧になれます。

各種申し込みをしたい方は、トップページ下の方にある「各種申し込みはこちら」(オレンジのアイコン)をクリックしてみてください。

会員のページのパスワードは、会員に配布した会報をご覧ください



会長 Facebook, 公式 Instagram でつながりましょう!

諸事業の企画過程や願い、事務局の様子など、一般には目に触れることが少ない情報もお届けしています。研修会情報もいち早く知ることができます。HPトップページの上に SNS のアイコンがあります。お友達登録やフォローをお待ちしております。



信教初です!! PV (プロモーションビデオ)

「信濃教育会って何をやっているの?」「紹介ビデオを作ってほしい」という声を受け、プロモーションビデオ(What's Shinkyo?)を作成いたしました。右 QR コードから視聴できます。



「アフタヌーンセミナー」「講習・講座」「信濃教育博物館」「編集・出版物」「全県研究大会」の紹介動画も HP でアップしています。

災害見舞金事業のご案内

会員であれば見舞金が支給されます!!

災害や日常生活でのケガなどが対象となります。詳細、案内ポスターについてはホームページを ご覧ください。右 QR コードからもご覧いただけます。該当するのかどうかと思われましたら、信 濃教育会までお問い合せください。



令和4年度の見舞金支払状況

<見舞金交付該当数と見舞金総額>

該当数:30名(件) 総額:11,204,323円

内訳と詳細	該当数	見舞金支払額
死亡	4名	6,000,000円
災害入院	10名	715,000円
災害通院	16名	555,000円
自然災害による不動産の損害	フ件	3,934,323円

令和5年3月31日現在

講習・講座

今年度新たに2つの講座・講習が企画されました。参加することでリフレッシュできる研修をめざしています。「信教会長と語ろう~若手教職員の視点で信濃教育会を考える~」(10/6実施)に参加された皆さんのアイデアを生かして実現した企画です。何かを学ぶ・獲得するといった研修イメージとは異なり、共に参加した先生方と語らいながら、ALTと散策したり豊かな自然のなかでゆったりと過ごしたりして一日を楽しむというものです。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



信濃の自然めぐり 木曽馬 6月10日(土)

ALT とぶらっと 善光寺 **8月3**日(木)

標高1100mの開田高原。木曽馬と里山ウォーキングをしたり触れ合ったりします。豊かな自然と木曽馬の優しさを満喫できるのではないかと思います。

ALT (英語指導助手) と善光寺の魅力を発見してみませんか! 現地で善光寺の名所名跡について英語で説明を聞き, 昼食は精進料理をいただきます。その後は ALT と一緒にグループごと善光寺周辺を散策します。

|公募委員,講座講習等の募集申込みが始まりました!!!

信濃教育会ホームページのトップページを下にスクロールすると、右図のような「各種申込みはこちら」のアイコンがあります。そこをクリックしていただくと講座・講習のご案内や Google フォームをご覧いただけます。

各種申し込みはこちら >



■研究調査委員の公募

- ① 「新しい時代の教育」研究調査委員会
- ② 牛山榮世先生遺稿集編集委員会
- ③ 学級づくり研究調査委員会

■講座・講習(4,5月募集が切のもの)

- ① 基礎講座「オーケストラ」
- ② 基礎講座「合唱」
- ③ 臨地講習「信濃の自然めぐり」

■「極意」伝承道場

申込 🗸 切 🕹 /27 (木)

- ④ 「インクルーシブな教育」
 - 研究調査委員会
- ⑤ ICT 研究調査委員会

申込 🗸 切 4 /27 (木)

申込 🗸 切 4 /21 (金)

申込 🗸 切 5/26 (金)

申込 🗸 切 4 / 27 (木)

■信濃教育会総集会「ポスターセッション」発表者の公募

7/1 (土) 総集会更埴大会にて、会員の皆様の日頃の教育実践を1枚のポスターにまとめて発表する方を公募しています。約10分発表10分質疑を2セットの予定です。

申込 🗸 切 5/12 (金)

教育実践の「振り返り」と「学び合い」

令和5年度 創設77年目を迎え、 新しい研究員の研究が始まりました

第77期研究員の先生方6名を迎え,下記研究テーマに基づき研究に取り組みます。 第76期研究員の先生方6名は,教育現場に戻り,実践研究に取り組んでいます。



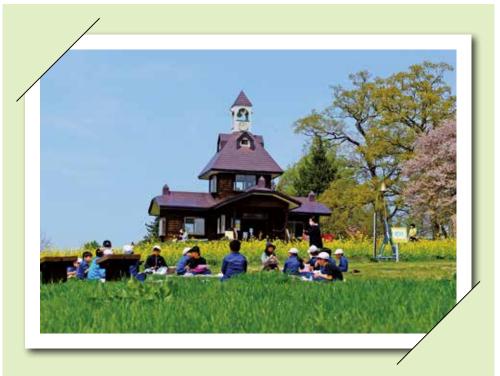
令和5年度 研究員 (第77期)

/ 第1テーマ 教師と子ども,子ども相互の関係づくり	井田	由里子潤	
第2テーマ 子どもの学びが深まる授業づくり		舜也美怜	
第3テーマ 今日的な課題に対応する多様な学び		紗 知 なぎさ	

5月の研修ガイド

- **13日(土) ●佐久教育会総集会** ◎小諸文化センター (ハイブリット開催) ◇菅谷昭「『学校教育』 へのささやかな期待〜地球規模の人づくりに向けて〜」☆佐久教育会 0267-67-2043
 - ●下伊那教育会総集会 ◎飯田文化会館 ◇「『個別最適化の学び』と『協働的な学び』 の一体的な充実について考える」酒井英樹(信州大学学術研究院教授・長野県教育委 員 教育長職務代理者)☆下伊那教育会 0265-52-0808
 - ●令和5年度長野上水内教育会総集会◎長野上水内教育会館(参集とオンライン)
 ◇鼎談「自律した学習者の育成~学びのその先へ~」武田育夫(信濃教育会会長),
 藤原さと(こたえのない学校理事),奈須正裕(上智大学教授)☆長野上水内教育会の26-226-2458
- **20日 (土) ●北安曇教育会総集会** ◎大町西小学校体育館 ◇工藤勇一 (横浜創英中学高等学校長) ☆北安曇教育会 0261-22-0440
 - ●更埴教育会総集会 ◎更埴教育会館から市内各校へオンラインで※更埴教育会館で聴講可能(要事前連絡)◇「百年先を見据えて、今、子どものためにできること」高野登(人とホスピタリティ研究所代表)☆更埴教育会 026-272-0247

■名称 ◎会場 ◇演題・講師等(講師名敬称略) ☆連絡先





でいます。菜の花の咲く頃には、きれいになった校庭の先に広がる菜の花公園の清掃活動に取組ん わっています。 公園にシートを広げ、 た菜の花尽くしのお弁当をもって春の味覚を味 給食室で用意していただい

....信濃教育....

予告



私の「学級づくり_

の歌を口ずさみながら「♪にじ色のゼ 水の流れを表現し、その後、 生き物は、のびのびと命が吹き込まれ とりもどしていく、にぎやかな海の います。そんな太樹さんが『スイ まずはローラーでダイナミックに のようなくらげ…」「♪風にゆれ になったスイミーがだんだん元気 』のお話の中から選んだ場面は 特に太樹さんが描いた 普段から絵を描くこと スイミー

海の中の様子を自由に表現できまし

分で選んだりすることで、動きのある

ローラーやスタンプなど用具を自

た。そして何より太樹さん自身がお話

ふれる水彩絵の具の特徴を生かした そうに着色していきました。透明感あ てる…いそぎんちゃく…」など,

雅子(芹田小学校

令和4年度 永年保存作品 今を生きる子どもの絵



「にぎやかな海の中」 蜜沢 太樹 (城東小2年)

信濃教育博物館所蔵

「信濃教育会報」カラー版は信濃教育会ホームページの「会員のページ」でご覧いただけます。



公益社団法人 信濃教育会

作品が生まれたのだと思います。 ことによって、このようなすばらしい の世界に浸り込み、楽しんで表現した

> 〒380-0846 長野市旭町 1098 TEL 026(232)2470 URL https://shinkyo.or.jp \simesshinkyo@shinkyo.or.jp 編集兼発行人/武田 育夫

